

※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

入札案件概要書 (工事)

契約番号 : 8154

件 名	市道大谷峰線舗装改修工事	
履行場所	海老名市国分南三丁目地内	
工 期	令和 8 年 10 月 8 日～令和 9 年 1 月 15 日(100 日)	
工事の内容等	別紙 仕様書等 のとおり	
予定価格	7,821,000 円 (税込)	7,110,000 円 (税抜)
最低制限価格	有り (事前算定型) 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
入札方法等	条件付一般競争入札 (電子入札)	
質疑 (仕様等に関する事項)	所定の書式により、FAX で受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参 加 条 件	営業種目	130 ほ装 経審 - 点以上 - 点未満		○下請契約の請負代金の合計の額が5千万円（建築一式工事の場合は8千万円）以上となる場合には特定建設業の許可が必要です。 併せて、主任技術者に代えて監理技術者を配置すること。
	発注区分 詳細は入札公告で確認してください。	第 1 区分		第1・第2区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入していること。 ※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く		
	落札件数制限	あり （第1区分及び第2区分の同日開札の <u>工事</u> で、基本数 <u>1</u> 件まで） 詳細は入札説明書等を参照してください。		
配置技術者等の兼任について		本案件に配置する主任（監理）技術者及び現場代理人は、工事・コンサル・一般委託の区分を問わず同じ開札日の他の案件に配置できません。		
事前提出書類 （システム添付）		参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 ファイルは一つにまとめてください。 ○告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入していることを証する書類の写し。（次の（1）～（3）のいずれか） （1）経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書（経営事項審査）の写し <u>※経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要</u> （2） <u>（同通知書発行後に社会保険に加入した場合）</u> 健康保険、厚生年金保険及び労働（雇用）保険料の領収書の写し （3） <u>（法令に基づき社会保険適用を除外されている場合）</u> 健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書		
入札時提出 （システム添付）		○入札金額積算内訳書 別添のエクセルファイル「入札金額積算内訳書（工事入札時システム添付）」をダウンロードして使用してください。 <u>システムへはPDF化して添付してください。</u>		
落札候補者が提出する書類 （FAX046-232-6574）		開札後、落札候補者は次の書類をF A Xで提出してください。 （落札候補者決定の翌開庁日午前 10 時まで。詳細は開札後 FAX で通知します。） ○配置技術者等に関する書類 ○建設業許可の確認できる書類		

市道大谷峰線舗装改修工事



施工条件明示書（土木工事共通）

1 工事概要

発注者	海老名市		
工事件名	市道大谷峰線舗装改修工事		
工事場所	海老名市国分南三丁目地内		
工事目的	本工事は、既存舗装の劣化を改修し、安全な交通網の確保と適切な維持管理を行うものです。		
工事概要	工事延長 L=152.5m 取壊し工 1式 舗装工 1式 区画線工 1式 仮設工 1式		
契約工期	令和8年10月8日 から 令和9年1月15日 まで		
事業区分	☐ 補助金事業	☐ 国庫	
		☐ 県費	
	☒ 市単独事業		
設計区分	☒ 単独積算		
	☐ 合算積算		工事
			工事

2 積算諸条件

主たる工種	： 舗装工事		
施工地域・工事場所区分	： 市街地(DID補正)		
契約保証の方法	： 発注者が金銭的保証を必要とする		
施工パッケージの使用（一部使用含む）	☒ 有	☐ 無	
週休二日制確保工事該当の有無	☐ 有	☒ 無	

【使用歩掛及び単価等】

☒ 土木工事標準積算基準書	適用年版：令和	7 年	7 月
☒ 諸経費率	適用年版：令和	7 年	7 月
☐ 下水道用設計標準歩掛表	適用年版：令和	年版	
☒ 土木工事資材等単価表	適用年版：令和	8 年	6 月
☐ 刊行物	適用年版：令和	年	月
☐ 特別調査	適用年版：令和	年	月
☐ 海老名市見積単価等	適用年版：令和	年度	
☐ その他（ ）	適用年版：令和	年	月

3 施工条件

【1】 工程関係	1	他工事による当工事の着手、完了時期の制約について	☒ 無 （他工事件名等） ☐ 有 （工期、内容等）
	2	当工事における施工時期の制約について	☒ 無 （制約を受ける施工内容等） ☐ 有 （施工時期等）
	3	施工時間について	☐ 昼間施工 ☒ 夜間施工（一部含む） （その他特記事項）
	4	官公庁ほか関係機関との調整、協議について	☐ 無 （関係機関名） ☒ 有 相鉄バス
	5	工事着手前に地上物件（家屋調査）、地下埋設物、埋蔵文化財の事前事後調査、又は、移設等の制約について	☒ 無 （対象内容） ☐ 有
	※ただし、施工上必要となる地下埋設物調査については、施工計画書に明示し、必要な措置を講じること。また、書面により報告すること。		
	6	設計工程上見込んである休日日数等作業不能日数について	☐ 無 （詳細内容、作業不能日数等） ☒ 有
【2】 用地関係	1	工事用地等の未処理部分について（用地買収状況について）	☒ 無 （用地未取得部分等） ☐ 有 （取得予定年月日等）
	2	工事用仮設道路、資材置場等の用地の借用について	☒ 無 （使用場所、期間、借用条件、復旧方法等） ☐ 有
	3	使用後の復旧条件	☒ 無 （復旧内容等） ☐ 有
【3】 公害関係	1	公害防止のため、施工方法、建設機械、作業時間等の制限について	☐ 無 （建設機械と制限内容） 騒音規制法・振動規制法 ☒ 有 （作業時間と制限内容）
	2	水替期等の処理で特別な対策等の必要性について	☒ 無 （対策内容） ☐ 有

【4】 安全対策 関係	1	安全施設等の指定について（有毒ガス及び酸素欠乏等の対策として換気設備の設置等の含む）	☒ 無 （指定内容） ☐ 有
	2	鉄道、ガス、電気等の施設と近接する工事の施工方法、作業時間の制限	☐ 無 （対象内容） ☒ 有 ☐ 鉄道 ☒ ガス ☐ 電気 ☐ 電話 ☒ 上水道 ☒ 下水道 ☐ その他（ ）
	3	交通誘導警備員の配置について	☐ 無 （1）交通誘導員の配置 工事内容に応じて2-3名の交通誘導警備員を配置 ☒ 有 （2）配置期間 現場実施期間中
【5】 工事用道 路関係	1	一般道路を搬入路として使用する場合の制約について	☒ 無 （搬入経路・使用期間等の制限） ☐ 有 （搬入中・後の処置）
	2	仮設道路を設置する場合の制約について	☒ 無 （仮設道路に関する安全施設） ☐ 有 （工事後の措置、維持補修内容）
【6】 建設副産 物関係	1	建設発生土が発生する場合について	☒ 無 （建設発生土の処分先） ☐ 有
	2	建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合について	☐ 無 （対象内容） ☐ コンクリート塊 ☒ アスファルト・コンクリート塊 ☒ 有 ☐ 建設発生木材 ☐ 建設発生木材（伐木・除根材） ☒ 建設汚泥 ☐ 建設混合廃棄物 ☐ 金属くず ☐ その他（ ）
			※建設廃材指定登録工場に限る。工場側の指示を遵守すること
※この工事が「資源の有効な利用の促進に関する法律（平成3年法律第48号）」の規定より再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。			
【7】 工事支障 物件	1	工事支障物件について（地下埋設物含む）	☒ 無 （対象内容） ☐ 電柱 ☐ 上水道 ☐ 下水道 ☐ 電話 ☐ ガス管 ☐ 有 ☐ 架空電線 ☐ 標識・看板 ☐ その他（ ）
【8】 薬液注入 関係	1	薬液注入について	☒ 無 （対象内容） 工法区分： 使用材料： ☐ 有 施工範囲、削孔数： 注入量： 施工管理基準等：

【9】 その他	1	工事現場発生品がある場合について	☒ 無 ☐ 有	(品名、数量等)
	2	支給材料及び貸与品がある場合について	☒ 無 ☐ 有	(品名、数量等)
	3	特殊・特定使用材料を使用する場合及び資材搬入等に制限がある場合について	☒ 無 ☐ 有	(品名、数量、搬入制限等)
	4	発生売却品評価額(スクラップ等)を計上している場合について	☒ 無 ☐ 有	(品名等)
	5	設計条件について	① 歩行者、車両の通行に支障のないように作業計画を立て周辺地域に配慮すること。 ② 関係自治会、周辺家屋への工事の周知を行い、トラブルのないように努めること ③ 構造物・境界杭については、適切な管理を行い、トラブルのないように努めること。 ④ 工事箇所は、工業地内であるため、施工時間等調整すること。また、安全管理に留意すること。 ⑤ 工事施工中の路上駐車については十分注意すること。 ⑥ 道路縦断・横断または、人孔(空気弁、バタフライ弁、集水柵等)の高さを測量し、高さ調整が必要となる場合は、事前に市担当に報告すること。 なお、調整の時間を考慮し、工程管理を行うこと。	

※明示されない施工条件、明示事項が不明確な場合は、契約書等の関連する条項に基づき甲・乙協議により決定すること。

工 事 説 明 書

(特 記 仕 様 書)

工事件名 市道大谷峰線舗装改修工事
工事場所 海老名市国分南三丁目地内
市道名称 海老名市道大谷峰線

1. 目 的

○既存舗装の劣化を改修し、安全な交通網の確保と適切な維持管理を行うため。

2. 仕 様 (施工監理)

○本工事は、海老名市土木工事共通仕様書及び土木工事施工管理基準に基づき施工すること。

・As 舗装 (施工面積 579 m²)

コア抜き 3 個

※コア抜きについては、立会いのもと行うこと。

密度測定 3 個 (1,000 m²未満 3 個 別途 1,000 m²毎に 1 個追加)

○原則として、アスベストを原料としていない建材を用いて施工すること。

又、使用材料については、アスベストを原材料としていない旨の証明書をメーカーより提出させ、監督職員の確認を得ること。

○上記に無き内容については、監督員と協議する。又、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

3. 工程管理

○工期について

契約工期 令和 8 年 10 月 8 日～令和 9 年 1 月 15 日

○詳細な工程については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

4. 安全対策

○工事区域の安全対策を十分に施し、道路管理者・道路利用者及び現

場作業員等の安全を確保すること。

○特に作業を行わない時は、第三者の通行に対する、安全対策(保安灯、舗装摺付け・注意看板等により)を行うこと。

○詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

5. 仮設備関係

○仮設備(現場事務所等)の建設は、位置・規模等について監督員の承諾を得ること。

○工事用電力・用水等は、請負業者の負担とする。

6. 道路関係

○一般道路を工事用資器材等の搬入に使用するので、搬入経路・使用期間等を明確にすること。

○一般道路を使用する時は、関係法令を遵守し、道路管理者・交通管理者等の許可を得ること。

○詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

7. 建設副産物関係

○As 殻、Co 殻、路盤材の処分は、建設リサイクル法等を遵守し、再生工場に搬入すること。

○詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

8. 海老名環境マネジメントシステム関係

○周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑えること。

○低騒音・低振動型作業機械を使用すること。なお、写真管理をすること。

○排ガス規制に適合した作業機械・車両(ディーゼルエンジン)を使用すること。なお、写真管理をすること。

○周辺住民の生活を妨げない作業時間帯を設定すること。

○工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしないこと。

9. 法定外の労災保険の加入

○本工事において、受注者は法定外労働災害補償制度(法定外の労災保険)に加入しなければならない。

○受注者は保険契約を締結したときは、発注者にその証券等を提示しなければならない。

10. その他工事全般

- 事前調査は十分に行い、不明確な部分については打合せ簿により、施工前に監督員と協議し、確認を得ること。
- 取壊し直近の構造物(ブロック塀等)は施工前に状態を確認し、必要があれば、地権者(所有者等)に立会いを求め、記録し監督員に報告をすること。
- 騒音・振動及び粉塵等工事沿線住民に対し、不利益になりうることは、工事期間及び時間等充分配慮し、施工にあたること。
- 施工範囲については、着工前に監督員の確認を行うこと。
また、道路縦断、横断勾配は、既設排水構造物等に合わせることを基本とするが、着工前に調査し、監督員に確認を行い施工すること。
- 舗装面積等の確認を行い、舗装施工前に監督員へ報告すること。
- 施工工程についても 5cm 以上の段差を生じさせないこと
- 舗装摺付けについては、道路縦横断方向及びマンホール周りは As 合材により施工を行うこと。横断方向及びマンホール周り、取り付け道路は、5%以下の勾配になるよう施工しその他は、10%以下の勾配にすること。
- マンホール蓋の高さについては、舗装施工前に調査し監督員へ報告すること。調整を要する場合は、施工前に協議を行うこと。
- 埋設物（水道等）の位置を事前に確認し、適切に処置を図ること。
- 工事施工方法については、交通管理者の許可条件に基づき計画すること。
- 舗装版の取り壊し量（施工範囲）については、舗装の日当たり施工量を考慮し計画すること。
- 地権者及び沿線住民と事前に工程等十分に調整し、トラブルのない様に努めること。
- 乳剤の散布時には飛散防止の養生を確実に行うこと。
- 消防施設とゴミ停が工事区間内にある場合は、関係部局へ届け出ること。
- 関連法令の遵守の上、公共事業という認識を常に持ち、責務を果たすこと。
- 工事区域外の路面についても、工事車両による乳剤等による汚損が無いように対策を行い、万が一汚損が生じた場合は、誠意をもって対応すること。
- アスファルト混合物施工前に基層または路盤の状況を確認し、事前に監督員と協議し、確認を得ること。

舗装版切断時に発生する濁水処理に係る特記仕様書

(趣 旨)

第 1 条 この特記仕様書は、海老名市土木工事共通仕様書等に定めるもののほか、舗装版切断時に発生する濁水の処理に関し必要な事項を定めるものとする。

(適 用)

第 2 条 海老名市が発注する工事で、舗装版の切断作業に適用する。

(処理方法)

第 3 条 舗装版切断作業時に発生した濁水については、産業廃棄物の汚泥として処理すること。

(条 件)

第 4 条 受注者は、産業廃棄物の汚泥の処分業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

2 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、産業廃棄物の汚泥の収集運搬業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

(提出書類等)

第 5 条 受注者は、施工計画書に舗装版切断時に発生する濁水の収集・運搬・処分に関する計画書、受注者と処分業者とで締結した委託契約書の写し及び処分業者の許可証の写しを添付すること。また、受注者が濁水の収集運搬を委託した場合は、受注者と収集運搬業者とで締結した委託契約書の写し及び収集運搬業者の許可証の写しを添付すること。

2 受注者は、産業廃棄物管理表（紙マニフェスト）又は電子マニフェストにより、適正に処理されていることを確かめるとともに、監督員に提示しなければならない

(その他)

第 6 条 この特記仕様書に疑義が生じた場合は、別途監督員と協議するものとする。

令和 8 年 度

市 道 大 谷 峰 線 舗 装 改 修 工 事 設 計 書

番 号	R6以降 8-1 単価8-6	施 工 年 度	令和 8 年度
名 称	市道大谷峰線舗装改修工事		
場 所	海老名市国分南三丁目地内		
施 工 主	海老名市	概要 施工延長L=152. 5m 幅員W=3. 0m 取壊し工 一式 舗装工 一式 区画線工 一式 仮設工 一式	
設 計 区 分			
路 線 名	市道大谷峰線		
期 間	令和 8年 10月 8日 ~ 令和 9年 1月 15日		
日 数	100 日		
部 課 名	まちづくり部道路管理課		
積 算 担 当	維持補修係		
合 計 額			
価 格			
消費 税 相 当 額			

内 訳 書

工 事 区 分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
費	舗装工事							
		取壊し工		式	1			
		舗装工 夜間		式	1			
		区画線工		式	1			
		仮設工		式	1			
	直接工事費計							
	共通仮設費計							
		運搬費		式	1			
		共通仮設費		式	1			
	純工事費							
		現場管理費		式	1			
工事原価								
		一般管理費	(契約保証費含む)	式	1			発注者が金銭的保証を必要とする

[illegible]

工事区分

I

種

種

別

細

別

單

数

量

單

僵

金

額

摘

要

工事価格

消費税相当額

合計額

間 接 費 明 細 書

設 計 条 件					
工 種	舗装工事	工事日数(内冬日数)	100日/76日	共通仮設費対象外額	
場所区分	市街地(DID補正)	支給品費		現場管理費対象外額	
前払い率	35%超え	処分費		一般管理費対象外額	
契約保証区分	発注者が金銭的保証を必要とする	処分除外費		支給共仮費対象外額	
積雪寒冷地域	なし				

算 出 基 礎

※補正係数を乗じる場合は係数を乗じて、小数3位四捨五入2位止めとする。

$$\begin{aligned} \text{共 通 仮 設 費} &= \text{対象額} \times \text{率} \\ &= \quad \times \quad \% \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{直接工事費} + \text{支給品費} + \text{事業損失防止施設費} - \text{共通仮設費対象外額} - \text{支給共仮費対象外額} + \text{準備費処分費} - \text{処分除外費} \\ &= \quad + \quad + \quad - \quad - \quad + \quad - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{地域補正係数} \\ &= \quad \% \times \\ &= \quad \% \times \rightarrow \therefore \% \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

$$\begin{aligned} \text{現 場 管 理 費} &= \text{対象額} \times \text{率} \\ &= \quad \times \quad \% \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{直接工事費} + \text{共通仮設費} + \text{支給品費} + \text{支給品費(現)} - \text{現場管理費対象外額} - \text{支給現場費対象外額} - \text{処分除外費} \\ &= \quad + \quad + \quad + \quad - \quad - \quad - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{地域補正係数} \\ &= \quad \% \times \\ &= \quad \% \times \rightarrow \therefore \% \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

間 接 費 明 細 書

算

出

基

礎

$$\begin{aligned} \text{一 般 管 理 費} &= \text{対象額} \times \text{率} + \text{対象額} \times \text{契約保証補正值} - \text{調整額} \\ &= \quad \times \quad \% + \quad \times \quad \% - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{工事原価} - \text{一般管理費対象外額} - \text{処分除外費} + \text{一般管理補正額} \\ &= \quad - \quad - \quad + \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{前払補正} \\ &= \quad \% \times \\ &= \quad \% \times \rightarrow \therefore \% \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

[illegible]

[illegible]

A- 4号		仮設工					1式当たり	内訳書					
名	称	規	格	単	位	数	量	単	価	金	額	摘	要
交通誘導警備員B				現場		1						C- 12号単価表	
交通誘導警備員B 夜間				現場		1						C- 13号単価表	
計													

[illegible]

[illegible]

C-	1号単価表(施工P-01)	積算単位:m	標準単価:
	舗装版切断		
	舗装版種別:アスファルト舗装版、アスファルト舗装版厚:15cm以下		

	名	称	／	規	格	単 位	構 成 比	単価(東京)	単 価	摘 要
機械K							15.05			
	K 1	コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型) 湿式				供/日	10.24			
	K 2									
	K 3									
	K 4									
	K 5									
労務R							58.43			
	R 1	特殊作業員				人	19.96			
	R 2	土木一般世話役				人	10.88			
	R 3	普通作業員				人	8.92			
	R 4									
	R 5									
材料Z							26.52			
	Z 1	コンクリートカッタ(ブレード)／径18インチ				枚	22.39			
	Z 2	カッソリン／レギュラー, スタンド渡し				ℓ	2.81			
	Z 3									
	Z 4									
	Z 5									
市場S										

P' =

$$\times \left\{ \left(\frac{10.24}{100} \times \frac{15.05}{10.24} \right) \times \frac{15.05}{10.24} \right.$$

$$+ \left(\frac{19.96}{100} \times \frac{58.43}{19.96+10.88+8.92} + \frac{10.88}{100} \times \frac{58.43}{19.96+10.88+8.92} + \frac{8.92}{100} \times \frac{58.43}{19.96+10.88+8.92} \right) \times \frac{58.43}{19.96+10.88+8.92}$$

$$+ \left(\frac{22.39}{100} \times \frac{26.52}{22.39+2.81} + \frac{2.81}{100} \times \frac{26.52}{22.39+2.81} \right) \times \frac{26.52}{22.39+2.81}$$

$$\left. + \frac{100-15.05-58.43-26.52}{100} \right\} =$$

C- 2号

1式当たり

单価表

舗装版切断濁水処理工
北部地区

[illegible]

[illegible]

C- 3号単価表(施工P-01)	積算単位: m ³	標準単価:
殻運搬 (路面切削)		
DID区間の有無: 有り、運搬距離: 4.5km以下		

	名 称 / 規 格	単 位	構 成 比	単価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			40.84			
K 1	タンポトラック オンロード・ディーゼル	供/日	40.84			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			45.78			
R 1	運転手(一般)／夜間	人	45.78			
R 2						
R 3						
R 4						
R 5						
材料 Z			13.38			
Z 1	軽 油／パトロール給油	ℓ	13.38			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned} &\times \left\{ \left(\frac{40.84}{100} \times \frac{40.84}{40.84} \right) \times \frac{40.84}{40.84} \right. \\ &+ \left(\frac{45.78}{100} \times \frac{45.78}{45.78} \right) \times \frac{45.78}{45.78} \\ &+ \left(\frac{13.38}{100} \times \frac{13.38}{13.38} \right) \times \frac{13.38}{13.38} \\ &\quad \left. + \frac{100-40.84-45.78-13.38}{100} \right\} = \end{aligned}$$

C-4号	切削オーバーレイ工(即日一層舗設) 夜間 段差すりつけなし、切削深7cm以下、t=5cm					100㎡当たり	単価表
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
土木一般世話役	夜間	人					
特殊作業員	夜間	人					
普通作業員	夜間	人					
改質アスファルト混合物	改質As 密粒 II型(20)DS3000	t	12.573				
アスファルト乳剤	PK-4 タックコート用	ℓ	43				
路面切削機運転費(一層舗設、7cm以下) 夜間	ホイール式、廃材積込装置付、排出ガス対策	日	0.137				
路面清掃車運転費(一層舗設、7cm以下) 夜間	ブラシ・四輪式、路面切削工事用	日	0.137				
アスファルトフィニッシュ運転費(一層舗設、7cm以下) 夜間	ホイール型、排対型(2014年規制)	日	0.137				
ロータリー運転費(一層舗設、7cm以下) 夜間	マカダム・超低騒音型、排対型	日	0.137				
タイヤロー運転費(一層舗設、7cm以下) 夜間	普通型・超低騒音型、排対型(2014年規制)	日	0.137				
諸雑費		式	1				
計							
1㎡当たり							

C- 5号

1,000m 当たり

单価表

区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正無

実線 15cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間

[illegible]

[illegible]

C- 8号

1,000m 当たり

单価表

区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正無

破線 15cm 制約無,排水性舗装でない,供用区間

[illegible]

[illegible]

C- 10号		区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪補正無					1,000m当たり	単価表
矢印・記号・文字15cm換算 制約無,排水性舗装でない,供用区間								
名 称		規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
区画線設置(溶融式) 昼間		豪雪無 矢印・記号・文字 制約無		m	1,000			
計								
1 m当たり								

[illegible]

C- 12号

1現場当たり

单価表

交通誘導警備員 B

[illegible]

C- 13号

1現場当たり

单価表

交通誘導警備員B 夜間

[illegible]

C- 14号

1台当たり

单価表

路面切削機運搬

ホイル式・廃材積込装置付2.0m、L=10km, 片道

[illegible]

市道大谷峰線舗装改修工事			材料費(30)			材料調書全体明細表							
(単位:円)													
名	称	規	格	単	位	数	量	単	価	金	額	備	考
トラフィックペイント 溶融型		3種1号 ビーズ 15～18 白		kg		271.32							
トラフィックペイント 溶融型		3種1号 ビーズ 15～18 黄 鉛・フリー		kg		86.64							
ガラスビーズ		0.106～0.850mm		kg		15.7							
接着用プライマー		区画線用		kg		15.7							
改質アスファルト混合物		改質As 密粒 II型(20)DS3000		t		72.798							
ガソリン		レギュラー, スタント渡し		ℓ		2.152							
軽 油		パトロール給油		ℓ		346.183							
アスファルト乳剤		PK-4 タックコート用		ℓ		248.97							
コンクリートカッタ(フレート)		径18インチ		枚		0.039							
材料費計													

[illegible]

[illegible]

数 量 計 算 書

工 種	計 算 式	単 位	数 量	備 考
○取壊し工 舗装版切断 (t=15cm) ・ t=15cm以下	3.010 + 10.20 + 3.08 = 16.29	m	16	16.29
舗装版切断濁水処理工 ・ 北部地区		式	1	—
殻運搬(路面切削)	579.0 × 0.05	m3	28	28.95
廃材処理料 (As殻)	579.0 × 0.05	m3	28	28.95
夜間処理料	579.0 × 0.05	m3	28	28.95
○舗装工 切削オーバーレイ工 再生粗粒度As(20) 段差擦り付けなし	○CAD求積より 579.0	m2	579	579.00
表層工 改質As密粒Ⅱ型(20) t=5cm	○CAD求積より 579.0	m2	579	579.00
○区画線工 区画線 ・ 溶融式(手動)	○道路標示の文字記号等規格及び換算より W15白色・実線 W15白色・破線 W15黄色・実線 W15白色・文字記号等	m m m m	288 124 152 64	288.5 124.0 152.0 64.0
○仮設工 交通誘導員B【昼間】 交通誘導員B【夜間】		人 人	5 5	5 5

区 画 線 数 量 計 算 書

(単位:m)

路線名	区 画 線 計 算 書								備 考
		W15 黄色・実線	W15 白色・実線	W15 白色・破	W30 ゼブラ	W45 ゼブラ	文字記号 等	文字記号 等	
市道大谷峰線	路側線	152.5	288.5	124.0					
	速度落とせ						64.2		
	ゼブラ帯								
	停止線								
	消火栓								
	横断歩道								
計		152.5 ≒ 152	288.5 ≒ 288	124.0 ≒ 124	0.0 ≒ 0	0.0 ≒ 0	64.2 ≒ 64	0.0 ≒ 0	※矢印・文字・記号については、所 要材料長を計上

1日未満で完了する作業の積算について(Ⅰ-12-①-1)

	単位	設計数量 (Xi)	1日あたり 標準作業量 (Di)
実線 W=15cm	m	440	1000
実線 W=30cm	m	0	625
実線 W=45cm	m	0	550
破線 W=15cm	m	124	900
矢印・記号・文字	m	64	400

$$\Sigma (Xi/Di) = 440 / 1000 + 0 / 625 + 0 / 550 + 124 / 900 + 64 / 400 = 0.738 < 1.00$$

$$\alpha \Sigma (Xi/Di) = \alpha \times (440 / 1000 + 0 / 625 + 0 / 550 + 124 / 900 + 64 / 400) = 1.00$$

$$\alpha = 1.355 \div 1.36$$

修正作業日当たり標準作業

$$\text{実線 } W=15\text{cm} \quad D'1 = \alpha \times X1 = 1.36 \times 440 = 598 \quad \text{m/日}$$

$$\text{実線 } W=30\text{cm} \quad D'2 = \alpha \times X2 = 1.36 \times 0 = 0 \quad \text{m/日}$$

$$\text{実線 } W=45\text{cm} \quad D'3 = \alpha \times X3 = 1.36 \times 0 = 0 \quad \text{m/日}$$

$$\text{破線 } W=15\text{cm} \quad D'4 = \alpha \times X4 = 1.36 \times 124 = 169 \quad \text{m/日}$$

$$\text{矢印・記号・文字} \quad D'5 = \alpha \times X4 = 1.36 \times 64 = 87 \quad \text{m/日}$$

$$0 \quad D'6 = \alpha \times X4 = 1.36 \times 0 = 0 \quad \text{m/日}$$

$$\text{実線 } W=15\text{cm} : \text{ 労務費は } \underline{598} \text{ m} \quad \text{材料費は } \underline{440} \text{ m}$$

(設計数量)

$$\text{実線 } W=30\text{cm} : \text{ 労務費は } \underline{0} \text{ m} \quad \text{材料費は } \underline{0} \text{ m}$$

(設計数量)

$$\text{実線 } W=45\text{cm} : \text{ 労務費は } \underline{0} \text{ m} \quad \text{材料費は } \underline{0} \text{ m}$$

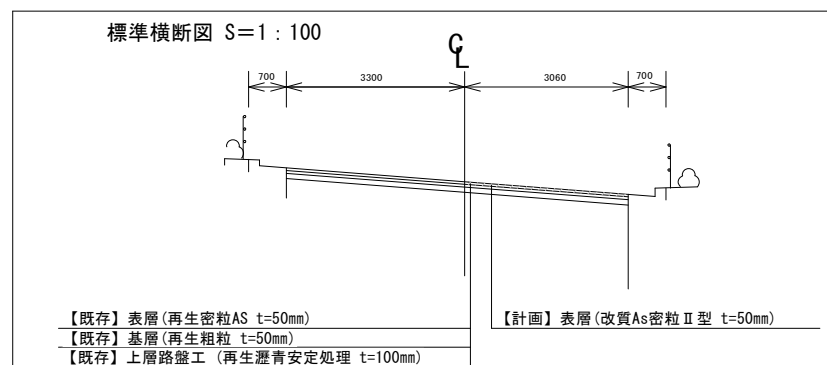
(設計数量)

$$\text{破線 } W=15\text{cm} : \text{ 労務費は } \underline{169} \text{ m} \quad \text{材料費は } \underline{124} \text{ m}$$

(設計数量)

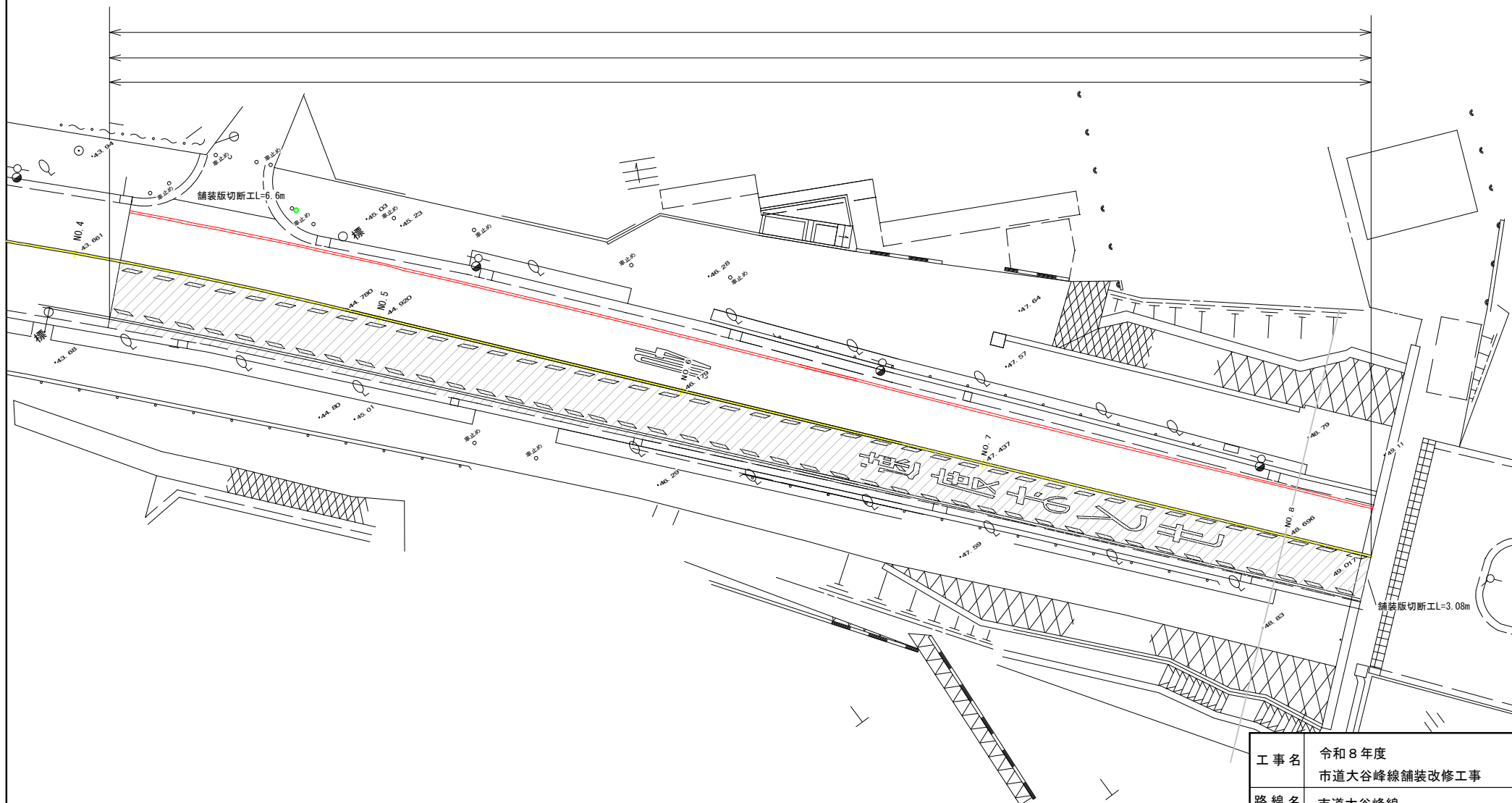
$$\text{矢印・記号・文字} : \text{ 労務費は } \underline{87} \text{ m} \quad \text{材料費は } \underline{64} \text{ m}$$

(設計数量)



工 事 名	令和 8 年 度 市道大谷峰線舗装改修工事		
路 線 名	市道大谷峰線		
工事場所	海老名市 国分南三丁目地内		
図 面 名	平 面 図	縮尺	1:250
図面番号	全 1 葉の内第 2 号		
神 奈 川 県 海 老 名 市 役 所			

令和8年度 市道大谷峰線舗装改修工事
海老名市国分南三丁目地内



工 事 名	令和 8 年度 市道大谷峰線舗装改修工事		
路 線 名	市道大谷峰線		
工事場所	海老名市 国分南三丁目地内		
図 面 名	平 面 図	縮 尺	1:250
図面番号	全 2 葉の内第 2 号		
神奈川県海老名市役所			